

挿絵倶楽部 (\*1) 連絡 (昭和十二年四月二十六日)

(32)

■かねて御報告しました、東京日日新聞社学芸部と契約の挿絵倶楽部資金獲得の為の仕事は、東京日日社のご好意に依つて次の題材にて、倶楽部員総動員のリレー風な試みをすることとなりました。

これは今後にかけても倶楽部資金事の小手試しとなり、且つ当面の倶楽部資金に役立つことですから、御協力を得て万全の効果を納めたく存じます。

作品の掲載面は、東京日日新聞、紙面第三面上に細長く四段、一日に二人づつ登場して五月上旬より順次掲出の約束です。この間原稿を途絶す

場所	美醜	受持
品川	未定	吉田貫三郎 / 松野一夫
新宿		石井鶴三 / 中川一政
上野		岩田専太郎 / 須藤重
神宮外苑		林唯一 / 富田千秋
丸の内		鈴木朱雀 / 田中咄哉州
東京駅付近		野村俊彦 / 宮本三郎
議事堂	美・醜	小村雪岱 / 寺本忠雄
月島		木村莊八 / 名取春仙
浅草		小川清葎 / 志村立美
銀座		小林秀恒 / 富永謙太郎
隅田川の橋梁		露谷虹児 / 小池巖

ることは最も禁物ですから、幾重にも御高意を得度く存じます。  
 ■題材は来るべきオリムピック(\*2)を目標としての東京の都市美及び都市醜について、これを一日に美醜両面を絵と短文を以て倶楽部員が提出するわけで、先日例会の節に取敢えず出席者の間にて上図の如くプログラムを定めました。

未識の場所

渋谷 四谷 池袋 新橋 神田 日本橋 両国 本所深川  
 歌舞伎座(劇場附近) 砧村附近 吉原 赤坂 愛宕山

以上は何れも制作に着手します。

については、上記の内、美醜何れなりとも欠けたる分を、例会に御出席なかりし諸兄にて御補ひ被下度、或ひは以上以外の東京都の部分の美醜を御扱ひ下さつてもよろしく、適当に御打合せの上先づ御希望を御知らせ下さい。この係は企画部、木村莊八、寺本忠雄、河野通勢、田中咄哉州が当ります。

■一切を東京日日社の予定と対照の上先づ四月末日と定め順次荏苒するところ無く原稿を聚めて行きたいと思ひますので、よろしく御配慮願上ます。

猶この稿料は一日二人分、稿出一回二十円也の約束です。

因みにホームライフは合作一点二人分について一頁十五円也の約束でした。合計概算 三百円程の資金がこの双方で集まる予算となつてゐます。この詳細は次の例会に御報告出来るでせう。

それと、日々の分には顧問の両先生も出場され一般的都市美を鏑木清方先生、都市醜を小杉放庵先生が受け持つて下さいます。 以上

細かきこと、原稿取りまとめのこと等には山本敏君が当ります。御問合せ御打合せには 電話(赤坂)〇三五五 挿絵倶楽部仮事務所 寺本宛御願ひ申します。

附記 画面の大きさは縦九寸 幅横四寸三分(先日まで政治博の載つてゐた処)。これを一人にて受持つのですから、一人では縦四寸五分横四寸三分となります。

昭和十二年四月二十六日

挿絵倶楽部

品

\*1 挿絵倶楽部…挿絵画家四十余名が団結して挿絵倶楽部を組織し、

昭和十一年(一九三六年)五月十六日に東京、丸の内マールブルにおいて結成式を行った。

\*2 「来るべきオリムピック」…昭和十五年(一九四〇年)に開催が予定されていた東京オリムピックは日中戦争勃発のため、昭和十三年(一九三八年)日本政府は開催を返上した。